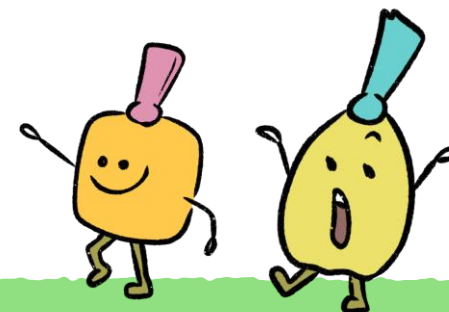
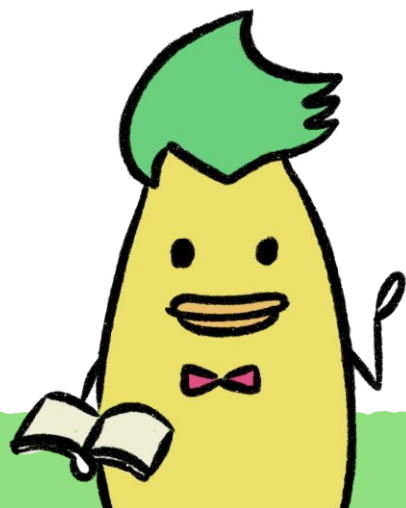




北海道の地図を広げて／

なるほどっ！！ 北海道

留萌地方





暮らしをまもる 留萌地方の除雪

除雪編

4年生

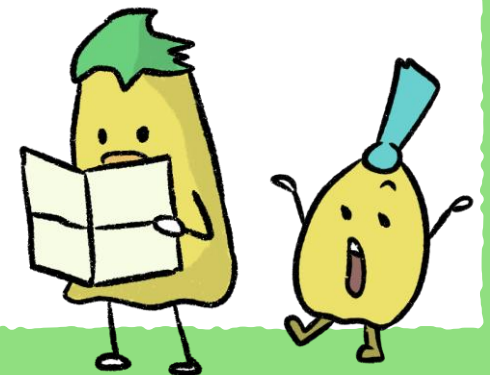
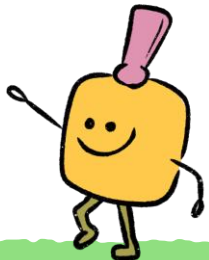
自然災害にそなえる
[雪害] ①～⑥

5年生

情報通信
①～④

6年生

国の政治
[行政] ①～⑤

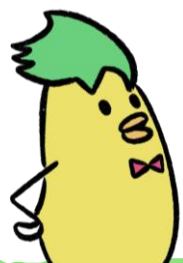




留萌市立留萌小学校前の横断歩道



雪の災害が起こると、
どんな困ったことが
起きるだろう？



雪がふると道路は？

冬の雪は、みなさんや地域の暮らしにさまざまな影響を与えます。積もった雪がまき上げられて「地吹雪」が発生し、道路が見えなくなることもあります。地吹雪がひどくなると、登下校を難しくし、安全のため学校が休みになることもありますね。

雪がたくさん降って、地面に積もると、家から出られなくなったり、交通が止まったりすることもあります。これらは、事故や火災とちがって、雪という自然によって引き起こされる災害です。

雪の災害にそなえ、暮らしを守るため、どのような取り組みをしているのでしょうか？

冬の安全な交通を支える工夫を調べていきましょう。



家や学校のまわりの道路がうまって困ることは？

みなさんの家や学校のまわりの道路が、雪でうまったら、暮らしはどうなるでしょう？

みなさんの家や学校のまわりの生活で使う道路は市町村がつくったり直したりする道路で市町村道といいます。

市町村道が雪でふさがると、生活できなくなるばかりか、健康や命にも関わることがおこるかもしれません。

そのため、市町村の道は市町村で除雪をしています。

なるほど
豆知識



〔市町村道 くわしくわけると〕

留萌市が除雪する道路を「市道」、増毛町や天塩町など町が除雪する道路を「町道」、初山別村など村が除雪する道路を「村道」といいます。



もしも、家のまわりの道路が雪でうまったら

- ① 家の自動車を動かすことができず、お仕事に行ったり買い物したりすることができません。
- ② バスが動けず買い物、病院、高校などに行くことができません。
- ③ ゴミ収集車もまわることができず、ごみが家にたまります。
- ④ 急病やけがをしても、救急車はすぐ来てくれません。
- ⑤ 火事がおきても、消防車がすぐ消火に行けません。



道路が埋まるとこんな大変なことに!?



大雪で動けなくなったゴミ収集車



国道231号（留萌市花園町付近）

国道が雪でうまって困ることは？

まちとまちを結ぶ道路には北海道がつくったりなおしたり除雪したりする道道や、国がつくったりなおしたり除雪したりする国道や自動車道があります。

留萌地方の国道や自動車道には、国道40号・国道231号・232号・233号・239号と深川・留萌自動車道があります。

国道や自動車道が雪でうまって通行止めになると、わたしたちの暮らしや産業にも大きな影響があります。生活に必要なもの、お店で売るもの、工場で作られたものなどを留萌に運んできたり、留萌から他のまちに運んだりすることができなくなります。



〔留萌地方の国道〕〔自動車道〕

留萌地方の国道や自動車道について、くわしく調べるには、ホームページ「なるほど北海道」に中の『暮らしをつなぐ留萌地方の交通』を見てみよう！



留萌油槽所

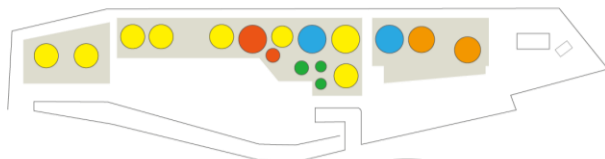
ゆそうじょ

留萌港には「油槽所」という施設があります。タンカーで運ばれてきた灯油やガソリンは、留萌の油槽所でタンクローリーに積みかえて留萌地方だけではなく、名寄市や紋別市、旭川市とそのまわりのまちにも運ばれます。これらのまちで売っている灯油やガソリンのほとんどは、毎日この留萌の油槽所から毎日、たくさんのタンクローリーで運ばれたものです。

国道や深川・留萌自動車道が雪でうまって、タンクローリーが走ることができないと、多くのまちで灯油やガソリンが足りなくなることが予想されます。冬の間は、国道や自動車道が除雪されタンクローリーが走れるからこそ、他のまちの人々も安心して生活できるのです。

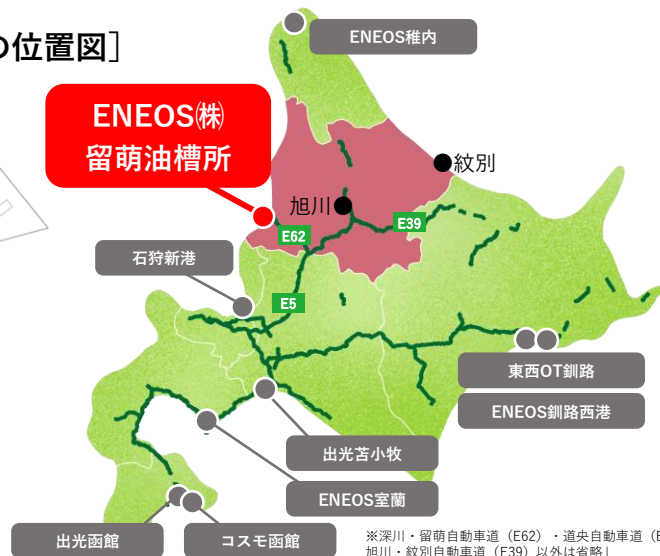
〔留萌油槽所からの配送範囲と油槽所の位置図〕

●留萌油槽所の位置図



- 灯油／9基
- レギュラー／2基
- A重油／2基
- ハイオク／3基

灯油が一番多いのはなぜだろう？



※深川・留萌自動車道（E62）・道央自動車道（E5）・旭川・紋別自動車道（E39）以外は省略



雪から国道を守る

雪で国道や自動車道がうまると、まちとまちの行き来ができなくなり、生活に必要なものを運ぶことができなくなる上に、産業にも大きな影響があります。留萌地方の国道・自動車道の安全な交通は、北海道開発局留萌開発建設部が支えています。

多くの雪がふった場合は、「除雪」を行います。除雪トラックや除雪ドーザが出動して、道路に降り積もった雪を道路のわきに寄せます。道路のわきに雪が高く積みあがったら、「排雪」を行います。ロータリ除雪車で切り崩し、ダンプカーで雪たいせき場などへ運びます。

いつ、どこを、どのように除排雪するかは、開発建設部にある道路情報室で、天気予報や道路の情報を集めて決めます。また、道路を通行することが危険がある場合は、警察と連絡をとりあって、通行止めなどの交通きせいをすることもあります。



国道の除雪や道路情報室について、くわしく調べるには、ホームページ「なるほどう北海道」の「上川みち学習」動画『雪害に関する取り組みを知ろう①・②』を見てみよう！





ロータリ除雪車 オペレータの仕事

オペレータの仕事 【運転】

除雪車の運転をします。雪の固さや深さでスピードをちょうどせます。



オペレータの仕事 【機械そうさと確認】

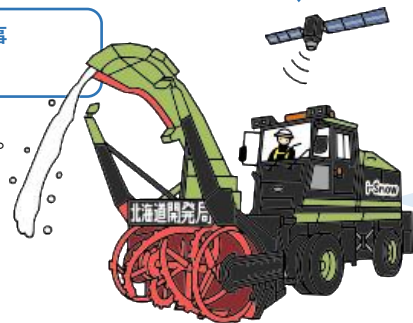
- 除雪車が今どこを走っているか、道路のどちら側を走っているかなどをかくにんします。
- オーガやシュート装置などの機械をたくさんのレバーで操作。
- 除雪車の周りの安全をかくにん

ロータリ除雪車 オペレータの仕事と情報通信技術

オペレータの仕事 【運転】

- 除雪車の運転をします。雪の固さや深さでスピードをちょうどせます。
- どこの場所でどのように機会を動かしたか、コンピュータに覚えさせます。

○モニターで安全や機械が指示どおり動いている確認します。



人工衛星「みちびき」の情報で除雪車が今どこを走っているか吹雪の中でもわかります。

人工衛星「みちびき」から場所の情報を受け取り、ロータリやシュート装置などの機械を自動的に動かします。

除雪車からレーダーを出して、周りの様子をモニターに映して知らせます。

【シュート装置】 雪をとばします

【オーガ】 雪をかきこみます



冬の安全な交通を支える情報通信技術

除雪トラックやドーザ、ロータリ除雪車の運転と機械の操作をしているのは、「除雪オペレータ」という仕事の方々です。

国道や深川留萌自動車道では、ロータリ除雪車に2人の除雪オペレータが乗り、仕事を分担しています。

留萌地方は人口減少と高齢化がすすみ、ベテランのオペレータの方が仕事を続けられなくなったり、新しくオペレータの仕事をする人が少なくなったりしています。道路の除雪ができなければ、冬の安全な交通が確保できません。

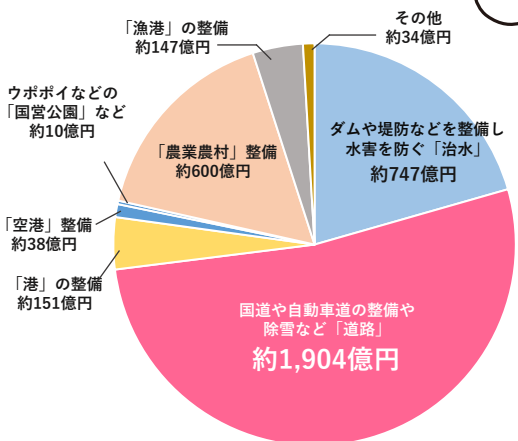
そこで、北海道開発局や除雪を行う会社・大学や研究所などの人々が、「i-snow」と、いうとりくみをしています。宇宙の人工衛星と地上の除雪車を情報通信技術でつなげ、ロータリ除雪車を一人のオペレータでも運転できるようにしました。これからは、無人でも除雪ができるよう研究をすすめています。



北海道開発局留萌開発建設部留萌地方の仕事を担当しています

2025年度 北海道開発局の予算

※北海道開発局が直接行った事業のみ（下のグラフの金額のほかに、北海道や市町村の予算を補助しています）



[内閣]

国会で指名された内閣総理大臣（首相）が国務大臣を任命して内閣をつくります。総理大臣と国務大臣が閣議（内閣の会議）で政治の進め方を話し合います。

[国務大臣]

ほとんどの国務大臣は、府・省・庁の大臣を務めるので、担当する府・省・庁の名前でいいます。国土交通省の担当なら国土交通大臣、文部科学省の担当なら文部科学大臣といいます。

国道を守るのも国の政治の仕事

国会で決めた予算を使って実際に国民の暮らしを支える仕事をするのが内閣です。その内閣のもとには、さまざまな府・省・庁などが置かれ、国の仕事を分たんしてすすめます。

国土交通省には北海道開発局が置かれ、国道や自動車道の除雪や整備を行っています。その他にも、北海道の大きな河川や港、空港、農地の整備、アイヌ文化をさかんにする仕事などを行っています。北海道のみんなが安全で快適に暮らすために、なくてはならない公共の施設や設備をつくったりなおしたりする仕事を中心にしています。

国道や自動車道の除雪は、留萌地方の人々だけではなく、多くの地方の人々の暮らしや産業を守るので、国の政治の仕事の一つなのです。